

Lake ソフトウェア・リリース・ノート

この度は Lake 製品をお選びいただき、ありがとうございます。本書面は、本リリースの内容と現在確認されている問題についてご案内しております。追加された多数の新たな機能を利用するために、できるかぎり速やかに既存のソフトウェアを本リリースにアップデートすることをお勧めします。本リリースでは、確認されているいくつかの問題が修正されています。

コンタクト

テクニカル・サポートについては、下記 E メール・アドレスまでご連絡ください。

support@lakeprocessing.com

plmsupport@labgruppen.com

操作の詳細については、製品に付属のマニュアルを参照してください。

ホームページ

最新情報および新しいリリースについては、下記サイトでご確認ください。

www.lakeprocessing.com

www.labgruppen.com/support/software_firmware/

Facebook でも情報をご覧になれます ([@Lab.gruppen](https://www.facebook.com/Lab.gruppen) および [@Lakeofficial](https://www.facebook.com/Lakeofficial))。また、Twitter をフォローしていただければ、常に最新情報をお届けいたします ([@labgruppenpower](https://twitter.com/labgruppenpower))。

リリース v5.8 ビルド 011 - インストーラー44 - 2012 年 6 月 14 日

最新ニュース

本パッチには、以前のリリースで予定どおりに機能しなかった PLM Preset Manager の重要な修正が含まれています。

必ず、[修正された問題](#)に関する以下のパッチ・ノートをすべて確認し、最新の変更点と改善点をすべて理解してください。

重要なお知らせ

v5.6 リリースと同様に、PLM シリーズ・ファームウェアを 2.69 以前のリリース (v5.5 以前) に戻したい場合は、ダウングレード用に提供されている中間ダウングレード・バンドルを使用する必要があります (PLM ファームウェア 2.75)。リリース v5.6 (PLM シリーズ・ファームウェア 2.78) にダウングレードする場合は、中間ダウングレード・バンドルを使わずにダウングレードできます。リリース v5.6 へのダウングレードをご希望の場合は、PLM シリーズのダウングレードについて説明されているセクションを参照してください。

Lake インストーラーv44 に含まれるソフトウェア/ファームウェア・コンポーネント

コンポーネント	バージョン	新規	備考
インストーラー	44	X	
Lake Controller	v5.8 build 011	X	
PLM シリーズ・ファームウェア	Bundle 00.02.96	X	
<i>DSP</i>	00.02.96	X	
<i>FPGA</i>	41		
<i>Front</i>	1.6.3	X	
<i>Amp</i>	0.14.2, PSU		
<i>Dante</i>	2.2.13		
PLM シリーズ・ダウングレード・バンドル	Bundle 00.02.75		別紙手順セクションを参照
PLM セーフ・モード・イメージ	0.03 (labeled 99.03)		インストール手順セクションを参照
LM シリーズ・ファームウェア	Bundle 00.01.05	X	LM 26 と LM 44 のいずれも同じファームウェア
<i>DSP</i>	1.05	X	
<i>FPGA</i>	88		
<i>Front</i>	2.0.0		
<i>Dante</i>	2.2.16		
LM セーフ・モード・イメージ	0.02 (labeled 99.02)		インストール手順セクションを参照
レガシー製品ファームウェア			
Dolby Lake Processor	1.50.53		Dolby 社から入手
Lake Contour	4.16.34		Dolby 社から入手
Lake Mesa	4.21.28		Dolby 社から入手
ファームウェア・アップデート・ユーティリティ			
Lake (PLM および LM シリーズ)	2.0.0.14		
Dolby Lake Processor	2.0.0.3		
Lake Contour	1.0.0.8		
Mesa	1.0.0.8		
<i>Preset Manager</i> ユーティリティ			
PLM シリーズ	1.0.99.0	X	インストーラー42 以降の新機能
LM シリーズ	1.0.92.0		
Dolby Lake Processor	1.0.72.0		
Lake Contour	1.0.72.0		
Mesa	1.0.72.0		
LoadLibrary™	2.7	X	別紙リリース・ノートを参照
Bonjour	2.0.2.0		Apple Inc.社から入手
操作マニュアル			
Lake Controller 操作マニュアル	1.3.2		
PLM シリーズ操作マニュアル	1.2.3		
LM シリーズ操作マニュアル	1.2.8		

対応ファームウェア・バージョン

1. 本リリース・バージョンの Lake Controller（上記リストを参照）のご使用にあたっては、インストーラーに含まれる最新ファームウェアへのアップデートが必要となります。
 - a. 付属の DLP、Contour、MESA ファームウェア・バンドルもリリース v5.5 に対応しています。
2. 付属の PLM シリーズ・ダウングレード・バンドル v2.75 を使用して、PLM シリーズ・ファームウェアをダウングレードすることができます。「PLM シリーズ・ファームウェアをファームウェア v2.78 からダウングレードする方法」を参照してください。

DLM - Direct Lake Messaging (サード・パーティー・コントロール・プロトコル)

本リリースのファームウェア・バンドルは、DLM プロトコルの v2.9 の機能に対応しています。

インストール

本リリース・バージョンの Lake Controller をインストールする際は、以前のバージョンのソフトウェアは削除せず、新しいフォルダーを作成してインストールしてください。今回はシステム・ファイルの「移行」機能は削除されています。

略語

[PLM]	PLM シリーズ・ファームウェア・バンドル
[LM]	LM シリーズ・ファームウェア・バンドル
[LC]	Lake Controller
[PM]	Preset Manager
[Updater]	Lake アップデート・ユーティリティ
[DLP]	Dolby Lake Processor バンドル
[Installer]	インストーラー

v5.8 の新機能

v5.8.011 の新機能

- [LC、PLM] LoadSmart のコンフィギュレーション可能なケーブルの最大長さが 1000 メートルに拡張されました。
- [PLM] PLM フロント・パネルや Lake Controller に表示される「Load not Verified」警告を DLM コマンドによって無効にすることができます。それ以外は、PLM 装置を再起動するたびに警告が表示されます。
 - 備考：これは、DLM プロトコル v2.9 で利用可能な DLM コマンドで行われます。

修正された問題

インストーラー 44

- [PM - PLM] 最新リリースの PLM Preset Manager がフレーム・プリセットとフレーム・プリセット・バンク・ファイルを正しく変換できなかったためにフレーム・プリセット機能が破損する問題が修正されました。この問題は PLM Preset Manager 1.0.99.0 で修正されています。
 - Preset Manager 1.0.96.0 の PLM デバイスに転送されるすべてのフレーム・プリセットが破損するため、ファクトリー・リセットを実行する必要があります（『PLM 操作マニュアル』を参照）。
 - PLM Preset Manager 1.0.96.0 で作成されるフレーム・プリセット・バンク・ファイルを復元できないため、今後使用できません。バックアップ・ファイルに対して PLM Preset Manager 1.0.99.0 を直接使用し、1.0.99.0 で新しいフレーム・プリセット・バンク・ファイルを作成します。

v5.8.011 の新機能

- [LM] LM 26 の問題が修正され、モジュール処理を回避する際に、LM 26 が 4 つの使用可能な Dante チャンネルをすべて通過できるようになりました。
- [LM] 順序付けされた起動シーケンスが原因でアナログ出力リレー・スイッチ（起動時にノイズをクリック）が遅延することに注意してください。

- [LM] 電源の短期喪失後、一部の装置を起動できない問題が修正されました (J#2727)。
- [LC] 同期操作の実行時にグループ EQ フィルターが誤って削除されてしまう問題が修正されました。
- [LC] 新しい Mesa 装置を以前のシステム・ファイルに追加すると、新しく追加されたフレームが破損してしまう問題が修正されました (J#2821)。
- [LC] システムの読み出しやバーチャル・サブ・システムの読み出しなどにより、PLM 20000Q のアイデンティティが変わり、PLM 10000Q および PLM 14000 として認識されてしまう複数のシナリオが修正されました。
- [LC] フレームが特定のシナリオで表示されなくなり、不可視のモジュール (ゴースト・モジュール) が作成される問題が修正されました。
- [LC] グループのミュートが複数の Lake Controller のシナリオの状態と一致しない問題が修正されました。
- [LC] グループのミュートがバーチャル/オフラインのフレームと Work Area の表示で一致しない問題が修正されました。
- [LC] Lake Controller がクラッシュしたときにクラッシュ・ダンプを作成する機能が実装されました。Lake Controller は、クラッシュ・ダンプ自体を作成し、そのダンプを「logs」ディレクトリに配置するようになりました。これは、Windows 7 と Windows XP の両方で機能します。
 - 備考: クラッシュが発生した場合、Lake Controller-“Version”-“Date”-“Clock”-“nr”.dmp ファイルを「Logs」フォルダーに置き、システム・ファイル (.csc) と現在のシステム設定に関する情報とともに support@lakeprocessing.com まで送ってください。
- [LC] 一部のコンピュータで速度が低下する問題により、Lake Controller でのすべての動作が遅くなり反応がなくなる問題が修正されました。
- [LC] Dante チャンネルのラベル検索の「Search」フィールドが正しく機能するようになりました。
- [LC] CL3-Way+1-Aux で、クロスオーバーが正しく生成されない問題が修正されました。
- [LC] LP4-Way/CL6-Way または 6-Aux モジュールのミキサー・データが正しくコピーされず、OOS 状況に陥る問題が修正されました。
- [LC] 出力チャンネル 5 がルーティングされない場合の CL6-Way のコピー/貼り付けに関する問題が修正されました。
- [PLM, LM] 自動 DHCP/自動ゼロ・コンフィギュレーション協調モードでの DHCP 割り当てに関する問題が修正されました。AutoIP が停止すると、IP アドレスはインターフェイスから削除されるようになりました。
- [PLM, LM] プライマリー・ネットワークに接続する際に、DHCP サーバーの IP アドレスが PLM に正しく割り当てられ、PLM および LM シリーズの Lake 製品で使用されるようになりました。
- [PLM] 非常にまれですが、「System Recall」で不正な ISVPL しきい値を設定するタイミングの問題が修正されました。
- [Installer] LoadLibrary モジュールのファイルが Windows 7 の「Virtual Store」ディレクトリにも保存されるようになりました。「スタート」メニューで「User Data Files」ショートカットを使用してください。
- [Installer] すべてのマニュアルが、インストール・ディレクトリの個別のマニュアル・フォルダーに配置されるようになりました。

実装されていない機能

- [PLM & LC] SpeakerSafe™は無効です。
- [PLM & LC] ユーザーは LoadSmart™を無効にするかどうかを選択できます。
- [LC] 出力チャンネルのミュートは Work Area または「All」ページで表示できません (J#752)。
- [PLM] フロント・パネルのゲイン・リダクション・メーターに MaxRMS および MAXPeak 制限は含まれません (J#558)。

既知の問題

Windows 7 サポート範囲：

Lake Controller は、まだ Windows 7 向けに完全に最適化されているわけではありません。一部のコンピューターでは、Lake Controller の反応や動作が遅く感じられる可能性があります。下記のコンフィギュレーション項目を調整することによって、パフォーマンスを改善できます。

1. 省電力と電源管理のオプションを無効にする
省電力オプションをすべて無効にします。この操作は、Windows 7 のデフォルト・コンフィギュレーションの「コントロール パネル」>「すべてのコントロール パネル項目」>「電源オプション」>「プラン設定の編集」>「詳細な電源設定の変更」または一部のラップトップ/タブレット・コンピューター・ブランドでは標準提供されるスタンドアロンの電源管理アプリケーションで実行します。パフォーマンスを改善するために調整できる重要なコンフィギュレーション項目として、CPU、PCI バス、PCI Express の各オプションがあります。デフォルトでは、これらは自動/～省電力/動的に設定されています。自動は「無効」、省電力は「オフ」、または「最大パフォーマンス」に設定して、コンピューターを再起動します。
2. Lake Controller を XP モードで実行する
Windows 7 の Windows XP モードは、Windows 7 Professional Edition のみに搭載されている機能であり、Windows 7 でバーチャル Windows XP 環境を提供します。その説明とインストールについては、下記のリンクを参照してください。
<http://www.microsoft.com/windows/virtual-pc/download.aspx>
3. BIOS でマルチコア CPU を無効にする
一部のコンピューターでは、マルチコア CPU 機能を無効にするとパフォーマンスが改善される可能性があることがテスト済みです。無効にするには、BIOS を使用します。お使いのコンピューターのマニュアルを参照してください。

Windows Aero のテーマを無効にする

1. デスクトップを右クリックして、「個人設定」をクリックします。
2. スクロール・ダウンして、「Windows 7 ベーシック」テーマまたは「Windows クラシック」テーマを選択します。

保存したシステム・ファイル、モジュール・ファイル、またはプリセットが見つからない

Windows 7 で「Program Files」フォルダーにプログラムをインストールした場合、ユーザーが Lake Controller 内から保存したファイル（システム・ファイル、モジュール、その他）は、`C:\%Users%\ユーザー名\AppData\Local\VirtualStore\Program Files\Lake\Lake Controller vX.Y\data\user` に保存されます。詳細については、『Lake Controller 操作マニュアル』を参照してください。この操作を適切に行うには、ユーザーアカウント制御(UAC)設定（「スタート」メニュー>「コントロール パネル」>「ユーザー アカウント」>「ユーザーアカウント制御の設定」）が「既定」に設定されていることを確認してください。

入力コンフィギュレーションで Dante チャンネルをサブスクライブしようとする、エラー・メッセージが表示される

Lake Controller の入力コンフィギュレーション・ビューで、Dante チャンネルをサブスクライブしようとしたときに、Windows 7 でエラー・メッセージが表示される場合は、IP が静的 IP であり、使用する範囲が 169.254.X.Y サブネットであることを確認してください。

Lake Controller およびファームウェアに関する既知の問題

- [LM] LM シリーズが Dante トランスミッターであり、デュアル・リダンダンシー・コンフィギュレーションの AUTO または UNICAST モードで使用されている場合、さまざまな状況下で誤作動が数回発生する可能性があります。
 - 回避策：LM シリーズの装置で伝送する際は、使用するすべての Dante アウトプットを強制的に MULTICAST モードにしてください。
- [PLM] 一部の装置では、別の Dante 装置からのルートの適用が困難な場合があります。インプット・ルーターは優先順位タブのチャンネルのドロップを受け入れませんが、タブが選択されません（J#2485）。
 - 回避策：Dante トランスミッターを別の装置と交換して再試行してください。
- [LC] 受信装置で Dante チャンネルをサブスクライブし、複数の NIC がアクティブな状態で、Lake/Dante ネットワークと通信する NIC が 169.254.X.Y 以外の範囲に存在する場合、エラーが発生する可能性があります。

- *回避策*：そのようなネットワーク・インターフェイスは、通信対象のデバイスと同じ IP サブネット（この場合は 169.254.X.Y）に配置するか、アクティブな NIC を 1 つのみにする必要があります。
- [LC] 修正した IP を使用したフレームによるシステム・ファイルの読み出しは機能しません。
 - *回避策*：代わりに「AutoIP/Zero Conf.」を使用します。フレームで特定の IP アドレスが必要な場合は、DHCP サーバーをセットアップして、代わりにそのオプションを使用します。
- [LC] ネットワーク上の利用可能なすべての Dante チャンネルが、Controller に表示されない場合があります。
 - *回避策*：Lake Controller を再起動すると、チャンネルが利用可能になります（J#1545）。
- [PLM] 非常にまれですが、アンプ・ファームウェアのアップデート中に、その進捗が 100%に達する前にフロント・パネルが停止する可能性があります。
 - *回避策*：製品を再起動すれば、ファームウェアのアップデートは完了します。
- [LC] バッチ交換／フレーム交換の実行時に、DHCP を選択する IP コンフィギュレーション設定が失われます。
- [LC, PLM & LM] イーサネット・ネットワークをデュアル・リダンダンシー・モードで実行している状況で、Lake Controller が動作するコンピューターの IP が 172.31.x.x の範囲に、サブネット・マスクが 255.255.0.0 に変更された場合、Lake Controller がセカンダリー・ネットワーク上で動作する可能性があります。Lake Controller をプライマリー・ネットワークとセカンダリー・ネットワークの両方に同時に接続することはできません（J#775）。
- [LC] A モジュールと B モジュールからの 2-Way が結合されている場合、Super Module に問題が発生する可能性があります。
- [LC] Dante のサンプリング・レートを 96kHz モードと 48kHz モードの間で切り替える際、Dante を一度無効にしてから再度有効にする必要があります。この操作を行わない場合、チャンネルは表示されません（J#1537）。
- [PLM] ファームウェア 2.68 から以前のバージョンのファームウェアにダウングレードする場合、ダウングレードの前と後にそれぞれファクトリー・リセットを実行する必要があります（T#1520）。
- [LC] 複数の Lake Controller を使用する場合、プライマリーとセカンダリーの間で、2-Aux モジュール・ファイルが「EQ AUX」タブに対する変更と同調しません（J#1437、J#1386）。
 - *回避策*：3-Aux モジュール・ファイルを代わりに使用するか、プライマリー Lake Controller から必要なフィルターを追加します。
- [LC] 古いシステム・ファイルを読み出すと、Work Area のグループ・アイコンに「ミュート表示」が表示される可能性があります。
 - *回避策*：割り当て済みモジュールのグルーピングを一時的にすべて解除し、そのグループ・アイコン内の「Levels」ページで、ミュートを解除します。
- [LC] 数の周波数で GEQ の変化があまりに急激すぎると、設定の転送と読み出しに問題が発生する可能性があります（J#1162、J#1201、J#1207）。
- [LC] 非常に規模の大きいシステムを実装する場合は、最低条件以上の仕様のコンピューターを使用してください。ステータス・バーに表示されるエラー・メッセージ 8、14、および 1158 は、Windows のリソース不足を示します。インストーラーによって提示される Windows のリソース設定は、この問題の解決に役立つ可能性があります（J#708、J#660、J#769、J#861）。
- [LC] 複数のセカンダリー Lake Controller が存在するシステムで通信の問題が発生します。セカンダリー Lake Controller のセキュリティにもいくつかの小さな問題があります（J#523、J#524、J#667、J#668、J#657、J#724）。
- [LC] セカンダリー Lake Controller からプライマリー Lake Controller への接続が失われても、「Events & Control」のポップアップ値をセカンダリー Lake Controller から編集することができますが、その変更内容がフレームに到達することはなく、プライマリー Lake Controller への接続が再確立すると、セカンダリー Lake Controller で変更した内容はすべて失われます（J#1431）。
- [PLM & LC] LoadSmart™の警告メッセージが、フロント・パネルおよび Lake Controller で表示されないことがあります（T#1133）。
- [LC] モジュール B にロードされた Classic 3-Way モジュールで、Low チャンネルのクロスオーバー・ページに誤ったチャンネル名が表示されます（Low チャンネルではなく High チャンネルが表示される）（J#578）。
- [LC] Amp Clip ファクトリー設定が、出力チャンネルの理論的なクリップ電圧に自動設定されません（J#455）。
- [LC] 周囲温度が、いくつかの操作中に、デフォルト値に戻る可能性があります（J#965、J#967、J#1167、J#1168）。

- [LC] セカンダリーLake Controllerが切断された後でWork Areaに追加されたフレームが、再接続した後にセカンダリーLake Controllerに表示されない可能性があります (J#1316)。
- [LC] すべての状況でLake Controllerとプロセッサ間的高速同期が予定されたとおりに動作しません。また、同期時間が通常より少し長くなる現象が発生することがあります (J#1343)。
 - 回避策: SystemのStore/Recallで問題が解決する場合があります。
- [LC] Super Moduleが一部スタンバイの場合、Work Areaに表示されません (J#830)。
 - 回避策: 最上階層の左上「All」タブですべてのフレームがオンラインであることを再確認してください。
- [LC] 一部スタンバイまたはオフラインのSuper Moduleに関する故障または警告メッセージが表示されません (J#1665)。
 - 回避策: 最上階層の左上「All」タブですべてのフレームがオンラインであることを再確認してください。
- [LC] Super Moduleが多数割り当てられているグループでは、グループ内で行われた変更が正しく同期されるまでに数秒の処理時間がかかります。その間、GUIでグループ名のタブが点滅するという問題が発生します (J#1353)。
- [LC] 同じサブシステムを複数回読み出すと、自動整列機能が有効であっても、モジュールがお互いに重なり合って表示されます (J#614)。
- [LC] 「Levels」ページのメーターは、再同期後もこのページを表示していると、高速更新されなくなります (J#489)。
 - 回避策: 「Levels」ページを閉じてからもう一度開きます。
- [LC] 「Recall Compare」は、バーチャル・フレームでは動作しません (J#707)。
- [LC] サブシステムを保存すると、現在のシステムで名前が更新されます (J#860)。
- [LC] DSPチャンネル3のディレイが最大であるようなLP 4-Wayモジュール・ファイルを読み出すと、エラー・メッセージが表示される可能性があります (J#791)。
 - 回避策: ミュートされている特定の出力チャンネルのルートを変更して、不要なミュートを解除します。
- [LC] 「Recall Compare」によって、入力ミュート表示が変更される可能性があります (J#1163)。
- [LC] 変更されたLP 4-Wayモジュールに「New Store」と名前を付けて保存すると、「Events & Control」の一部のパラメーターが失われます (J#1426)。
 - 回避策: このモジュールの「Events & Control」パラメーターを再確認してください。
- [LC] LoadSmart機能のケーブル・データがコピー／貼り付けアクションでコピーされません (T#1492)。
- [LC] LP 3-Wayのコピーにより、クロスオーバー周波数に丸め誤差が発生する可能性があります (J#908)。